

グループワークを 豊かな学習活動とするために

—ジグソー法の理論的背景とその活用—

11月4日（金）

15:00～17:00

場所：国際交流会館
グローバルcommons

講師：益川 弘如



講師プロフィール

益川 弘如（マスカワヒロユキ）

静岡大学大学院教育学研究科准教授
博士（認知科学）

研究分野:教育工学、教育心理学

研究テーマ:学習科学、協調学習、

ジグソー学習、ICT活用授業、

21世紀型スキル

〈主著〉

・デジタル社会の学びのかたち 教育とテク

ノロジーの再考 北大路書房（2012年11

月）・教育工学選書3 教育工学研究の方

法 ミネルヴァ書房（2012年7月）

—グループワークを取り入れると学生の満足度は高いけれど、学生にとって意味のある学びになっているのだろうか？

—ただ話し合わせるだけでよいのだろうか？

こんな悩みをお持ちではありませんか。グループワークは、学生の知識を外化する上で重要な役割を果たしますが、ただ思っていることを話し合わせるだけでは、知識の深化につながっていないかもしれません。本セミナーでは、グループワークを豊かな学習活動にする手法として

“ジグソー法”の背景理論とその活用事例について益川先生にお話しいただきます。興味のある先生方、ぜひご参加ください。

参加方法 事前申込制

会場や資料準備の都合上、10月27日（木）までに下記のメールアドレスまでご連絡ください。

お問い合わせ先

Email : fd_center@las.osakafu-u.ac.jp

プログラム

15:00～15:05	開会挨拶：前川 寛和（高等教育推進機構長）
15:05～16:45	講演・グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・初等・中等教育における状況 ・ジグソー法の理論的背景と活用方法 ・高等学校の事例を用いたワークショップ（人文系・理工系）
16:45～16:55	質疑応答
16:55～17:00	閉会挨拶：星野聡孝（高等教育開発センター長）

アクセス



- ・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約6分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1,000m、徒歩約13分
- ・地下鉄御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約1,000m、徒歩約13分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前31、32、32-1系統）で約5分、「府立大学前」下車

